

横浜市議会におけるカジノ予算成立に対する立憲民主党神奈川連合声明

立憲民主党神奈川県連合

代表 阿部とも子

2020年3月27日

去る三月二十四日、横浜市議会ではカジノ整備計画も含む令和二年度予算が、立憲民主党始め多くの市民が懸念と反対を表明する中、早々に論議を打ち切り賛成多数で可決された。余りにも民意を無視した、またコロナ感染などで明らかとなった市民生活を守る為の自治体の課題も置き去りにして、何が何でもカジノありきの姿勢に強く抗議する。

そもそも林文子市長は先の市長選挙にあっては、カジノ誘致は白紙であり、市民の意見を聞きながら進めていくという公約であった。予定していた各区における説明会も六カ所で延期されて開催できておらず、また予算採決に先立って三月五日に発表された「横浜IR(統合型リゾート)の方向性(素案)」へのパブコメ募集に当たっても、反対の意見が多くても誘致が変わることはない、と民意無視を公言して憚らない。

立憲民主党神奈川県連合としては、そうした市政運営に強く抗議して、カジノ誘致撤回を断固として求め実現していく。